

番号	131	復興記念 町長 西村寿雄書		
所在地	太良町大浦丁348 大浦小学校			
災害別	昭和37年（1962） 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和39年7月	
特記事項				



昭和37年7月8日の水害で太良町大浦地区は甚大な被害を受けた。大浦小学校では裏山の権現山が地すべりを起こし、当時の校舎2棟14教室が流され、運動場も土砂で埋もれた。その土砂はさらに国道を超えて鉄道線路にまで押し寄せ、多くの住民が犠牲となった。この災害を契機に大浦小学校では、毎年「七八災害祈念集会」を開催。災害の伝承と防災教育に取り組まれている。この碑は小学校の校庭に建てられており、また、学校の近くにはこの災害による犠牲者の慰霊塔も建っている。

「復興の記録 昭和三十七年の集中豪雨で権現山が大地すべりをおこし、数十万トンの土砂のために校舎二棟が壊滅し、校庭は土中に埋没して学校教育が不可能となり、大浦小学校は未曾有の教育危機に直面した

この事態を深憂した西村町長及び関係当局者は、校舎その他の再建復旧のため東奔西走し、その努力によって鉄筋コンクリート三階建の校舎が竣工し、運動場も完成された

この期間に大浦校区民は小学校整備促進協力会を結成して百五十五万円の浄財を募り、総力をあげて学校諸施設の整備と、校内緑化の植樹作業等を推進し、災害後二年間で全く面目を一新した美しい教育環境を作りあげた

ここに復興記念の碑を建立して、町当局並びに大浦地区民及び教職員が災害を克服し、禍を転じて福となした不屈の精神と、尊い献身の記録をのこし、この学園で学ぶ子供等が苦難に耐えて心をみがき、体をきたえ、強く正しく成長するよう祈念するものである

昭和三十九年七月八日

大浦校区民一同 整備促進会長 副島治始 大浦育友会長 井上音次郎 大浦小学校長 中島愛一」

(裏面)「記録 一、災害復興費約四千万円 内訳 国庫補助参千万円 町費壹千万円 二、校舎竣工 昭和三十八年五月二日 三、大浦小学校整備促進事業 校内緑化植樹 校庭整備 観察池 温室 二宮金次郎像 小鳥小屋 野外子供像 気象観察場 室内設備 教材園 復興記念碑」(代表者氏名等 略)



国土地理院電子国土 Web